研究会授業　２月１１日(土)２限目（１０：５０～１１：３５）

社会科学習指導案

６年２組　安野　雄一

１．単元名　「わたしたちのくらしと憲法」

２．研究主題

価値判断・意思決定力を育む社会科学習 ～アクティブに過去・現在を学び，未来を「そうぞう」する子どもたちを育成する場の構成～

（１）単元について

子ども達は，歴史的分野（「１大昔のくらしと国の統一」～「１０新しい日本へのあゆみ」），そして公民的分野（「わたしたちの願いと政治のはたらき」）について，資料や書籍，ＩＣＴを活用しながら調べて考え，対話する中で学びを深める活動などを通して学習を展開してきた。その中で，これらの過去の社会的事象と現在及び未来を結び付けて考え，よりよい未来を「そうぞう」する活動も進めてきた。本単元においては，主に遠隔授業などを行い，被爆地に生きる人や被爆体験者，戦地を経験した人と繋がりながら，1930 年代から 1945 年までの戦争における日本の被害面及び加害面の両面から，平和の在り方について模索した学習経験を活かすものとする。その上で，過去―現在の社会的事象を捉え，未来を「そうぞう」する学びを行い，知識の整理をしつつ，より社会認識を高める学習を進めていく。

（２）単元の目標

○　日常生活における政治のはたらきと我が国の政治の考え方について進んで資料や書籍，ＩＣＴを活用して調べて考え，日本国憲法に基づく我が国の政治の働きについて価値判断・意思決定することができる。【主体的実践力】（関心・意欲・態度及び思考・判断・表現）

○　国民生活と我が国の民主政治の関連や国民生活の安定と向上を図る民主政治のはたらきについて，絵図や文書資料，年表，地図などの基礎的資料を効果的に活用して，他者と協働して社会的事象について調べたり対話したりしながら，より高次な思考をし，価値判断・意思決定したことを使って，表現することができる。【協働的実践力】（観察・資料活用の技能及び思考・判断・表現）

○　我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていること，日本国憲法は国や国民生活の基本を定めていることについて調べたり，考えたり，価値判断・意思決定したりしたことをもとに，よりよい未来（社会）を「そうぞう」することができる。【創造的実践力】（観察・資料活用の技能及び思考・判断・表現）

（３）活動構成の仮説

①主体的且つ協働的にアクティブな学びを展開する事で，積極的に社会的事象と関わろうとする子どもが育つ

我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていること，日本国憲法は国や国民生活の基本を定めていることについて，自ら調べて考え，価値判断・意思決定し，他者との対話・討論を通して，自他の調べて考えたことを比較したり結び付けたりして考える（思考を揺さぶり合う場を設ける）ことで，子どもたちはよりアクティブに社会的事象と関わろうとする力を高めることができる。

②過去―現在―未来を結び付けて調べて考え，価値判断する事で，社会認識がより高まる

過去―現在の社会的事象，特に本単元では，戦時日本の状況について学習したことを踏まえた上で，未来の社会や自分の生き方を「そうぞう（想像・創造）」する学びにまでつなげる事で，知識を再構成するとともに，より社会認識を高める事が可能となる。また，自分たちが生きる未来について思考を進める中で，よりよい社会の形成者としての公民的資質の基礎を養う事ができる。

３．単元計画（７／９時間）

子どもの意識の流れと学習の流れ　**問題設定**　思いやねがい　教師の役割

次の単元へつなげる

国や国民生活の土台となっている日本国憲法について，いっぱい調べて考えられたね。

日本だけが平和で安定した状態でいいのかな?世界の国々とどのような関系を結んでいったらいいのかな?

日本の平和と安定を保ちつつ，世界に貢献できることは何があるのかな?

単元のまとめをするとともに，次の単元の学習に向けて，方向付けをする。

⑨憲法改正について考えながら単元の学習内容をまとめる

憲法改正について考えながらまとめたレポートを交流する。

私たちの今の暮らしは，日本国憲法によって守られているんだな。

日本国憲法の改正について国会で議論されることがあったよね。難しい問題だねと思うよ。

日本国憲法によって国民の権利が守られているけれど，今でもいろんな問題があるんだね。

＜全体として＞
写真や映像，グラフなどの資料や書籍，ICTを活用して過去と現在について調べて考え，対話を通して学びを深めるようにする。

⑧憲法改正について考えながら，日本の未来を見通し，単元の学習内容をまとめる

憲法改正について考えながら，絵や図，グラフなどを使って，学習したことを画用紙にまとめるようにする。

日本国憲法の三大原則を中心にまとめたいな。

日本国憲法によって私たちの権利が守られていることを中心にまとめたいな。

憲法改正のニュースを見たことがあるけれど，そのことも考えながらまとめたいな。

18歳になったら投票に行きたいな。基本的人権とも関係している?

18歳になったら投票に行きたいな。平和な世の中を創る事にも繋がる?

いろんな権利が認められているね。これは国民主権とも関係している?

いろんな権利が認められているね。これは平和主権とも関係している?

戦時中は天皇主権であったことから考えると，国民主権って大切だよね

私たちは平和な世界に生きる権利がある。基本的人権と繋がっている。

③18歳選挙権について考える

⑤広がる基本的人権について考える

⑦在日米軍基地の是非について考える

【本時】

18歳で投票に行った経験がある人から意見を聞けるようにし，18歳選挙権の是非について価値判断したことをもとに対話を通して学びを深められるようにする。

資料や書籍，ICTを活用して米軍基地移設問題への取り組みについて調べて考え，価値判断したことをもとに対話を通して学びを深めるようにする。

戦時中とは違って，18歳を過ぎると，参政権が与えられるんだね

18歳選挙権について考えてみたいな。あと6年したら私たちにも。

日本国憲法によって，私たちの基本的人権が認められているんだね

権利が認められている分，果たすべき義務もあるんだね。他の権利は?

過去から学び，平和主義の考え方が出てきたんだね。平和な世界がいい

自衛隊の位置づけって難しいね。米軍基地の移設問題もあったね

②国民主権と参政権について考える

④基本的人権と国民の権利・義務

⑥平和主義の在り方について考える

子どもたちの思考の流れに応じて，単元内の構造を柔軟に取り扱うようにする。

国民主権の在り方について調べて，考えてみたいな。

国民の権利について考えたいな。権利が認められているということは，義務もあるのかな

平和主義の在り方について考えてみたいな。今の日本は平和なのかな。

自衛隊及び名護市の方から意見を聞けるようにし（遠隔授業），平和主義の在り方について価値判断したことをもとに対話を通して学びを深められるようにする。

児童の学びたいことを読み取り，学習展開を組むようにする。

①日本国憲法のめざすものを考え，学習計画を立てる。

日本国憲法の三大原則について全体像を捉えられるようにする。

今までの生活・学習経験

○歴史について学んでくる中で，いろんな戦いがあったことに気づいたね。
○過去（歴史）に学んで日本国憲法がつくられて，今の暮らしがあるのではないかな。
○これから先，どんな未来をつくっていけるのか，考えてみたいな。

評価計画

主体的実践力

○日本国憲法と国や国民生活の関係について既習事項や生活体験を活かして，学習計画・学習方法を考えることができる。
（思考・判断・表現）

○日常生活における政治のはたらきと我が国の政治の考え方について進んで資料や書籍，ＩＣＴを活用して調べて考え，日本国憲法に基づく我が国の政治の働きについて価値判断・意思決定することができる。
（観察・資料活用の技能及び思考・判断・表現）

○国民生活と我が国の民主政治の関連や国民生活の安定と向上を図る民主政治のはたらきについて理解し，様々な視点から日本の動向について考えることができる。**（知識・理解及び関心・意欲・態度）**

協働的実践力

○国民生活と我が国の民主政治の関連や国民生活の安定と向上を図る民主政治のはたらきに関する学習について，友だちと協働して調べて考えたり，「対話」を通して学びを広げ深めたりする活動の有意義性を感じ，積極的に問題解決をすることができる。（関心・意欲・態度）

○日常生活における政治のはたらきと我が国の政治の考え方，地域の人々の思いと生活環境改善に向けた取り組みについて協働して学ぶことで，みんなで新たな視点や価値観を見出すことができる。（思考・判断・表現）

○国民生活と我が国の民主政治の関連や国民生活の安定と向上を図る民主政治のはたらきに関する学習について，学び合い，「対話」を通して，様々な立場の人が納得できる合理的な結論について，互いの考えを認め合いながら全体で考えることができる。**（思考・判断・表現と観察・資料活用の技能）**

創造的実践力

○我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていること，日本国憲法は国や国民生活の基本を定めていることについて調べたり，考えたり，価値判断・意思決定したりした事をもとに，よりよい未来（社会）を想像したことを，ＩＣＴやノート，レポート，プレゼンテーションなどを活用して，他者に伝わるように表現することができる。
（思考・判断・表現と観察・資料活用の技能）

○価値判断・意思決定したりした事をもとに，よりよい未来（社会）を「そうぞう」し，他者との関係をつくりだすことができる。（関心・意欲・態度及び思考・判断・表現）